

地域経済を担っている地元業者にもっと予算を。

◇自治体予算と地域経済

ただいま9月議会のさなか。昨年度の決算を審査しているところです。

自治体予算の使われ方を見るとときには、公正性、経済性、透明性が確保されているかが重要です。同時に、一円でも安い方が良くとする目先の経済性一本やりでの評価もなじみません。この地域で営業し雇用を生んでいる地元業者を支えるような使い方がされているか、自治体予算が地元経済を潤し、地域経済に生きたお金として回っているかも大事なチェック項目となります。



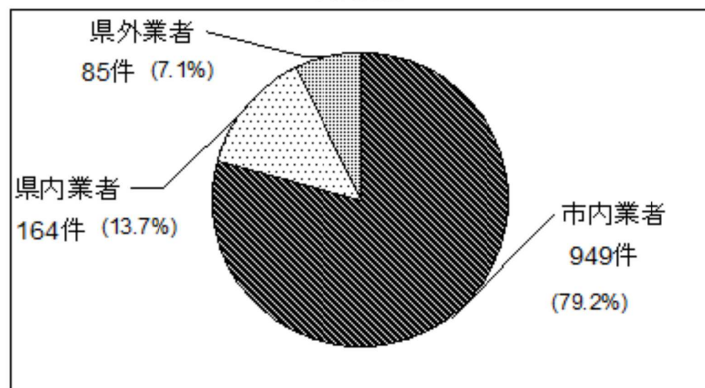
9月議会の一般質問では「紀の川市発注の官公需の地域

経済への波及効果について」というテーマで質問をしました（この他2件）。

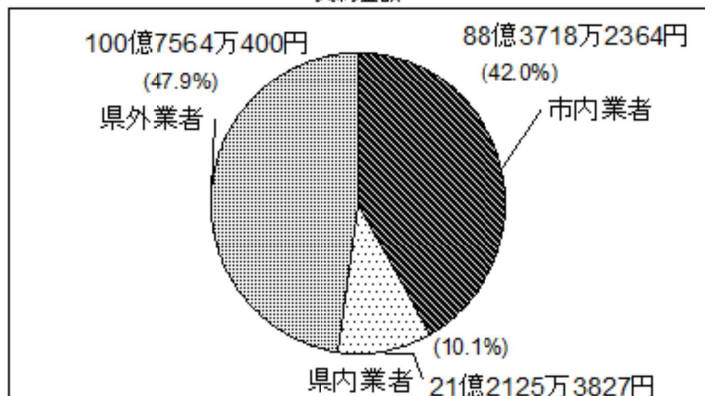
紀の川市の場合、平成21年度から24年度までの4年間で入札による契約は、1198件、総額210億円。このうち市内業者の受注は945件（79%）、88億円（42%）です。件数では市内業者が8割を占めますが、契約金額では128億が市外・県外業者に渡ったこととなります。質問は、自治体からの発注を地域の中小企業の仕事おこしにつなげ、自治体自らが地域に仕事をつくり出すことが大事であること。地元紀の川市で事業を行い、地域経済を担っている市内業者にもっと予算が回るようにできないのか、という視点から行いました。詳細は



平成21年度～24年度までの4年間の入札と契約の状況
契約件数



平成21年度～24年度までの4年間の入札と契約の状況
契約金額



紀の川民報で報告します。

石井 ただし 市議

妙高山・火打山山行記 ①

親子4人プラス一人の計5人で、8月12日朝五時自宅を出発、9時間のドライブで新潟県の燕温泉についた。標高1100メートルの山中にあり、妙高温泉郷の最奥にある。

急な坂道の両側に旅館が4軒、土産物屋が2軒の小さな温泉街だ。さらに奥に2つの野天風呂がある。近くにある黄金の湯は男女別で、遠くの河原の湯は混浴だ。体ならしを兼ねて訪ねてみた。河原の湯では、数名の中年男女が入浴中であった。黄金の湯は外からはよく見えなかった。

翌朝5時に起きてすぐに出発。黄金の湯の前を通過して登山口へ。はじめのうちは幅1メートルほどのコンクリート舗装の緩やかな歩道歩きで、赤倉温泉の源泉地に着くと休憩所や管理小屋があり、湧水が噴き出ている。ここで朝食をとり、歩き出すと本格的な山道となった。樹林の中の急坂をえ



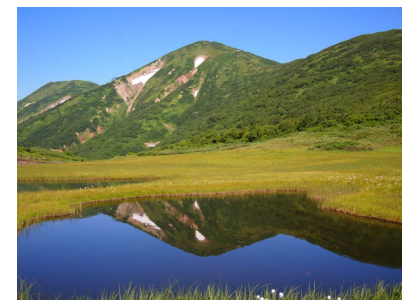
いといと歩くこと40分で麻平の分岐に着いた。ここからさらに急な道をえいこらと登り、1時間あまりで湯道分岐に。さらに歩いて雪渓や沢を渡ったりして1時間ほどで小さな広場になっている天狗堂に着く。すこし道が緩やかになってほっとしたところ急な岩場の鎖場に。ここを越えてさらに急登をがんばると、妙高トリカブトが見られるようになり、トウヤクリンドウの咲く最後の岩場をひと登りすると南峰の頂上に着

いた。幾人もの登山者がくつろいでいる。ここもご多分に漏れず山ガールが多い。

高校の修学旅行でふもとの池の平いもり池を訪れた時に見た妙高山は、マントをまとった富士山のように、たおやかな山容だったように記憶していたはずだったが、登ってみると想像の2倍ほどの急峻さで、まったく参ってしまった。また、2500メートル近い標高なのに、山頂直下まで樹林帯で、はい松も少なく、不思議だった。

山頂で昼食のあと、北峰を通過して外輪山との間にある谷を目指して下っていく。登りと同様の急坂で、大きな

段差が何度もあり、余計な体力を使ってしまう。登山の体力度は、標高差や距離だけではわからないことを実感させられた。



西大井 松岡 登

北極星

発行連絡先

0736-22-7573

日本共産党紀の川市委員会



No. 6 (紀北地区委員会内)